

るのがモットーと語る石塚さん。区民の皆さんへは「資源ごみの分別はしっかりとね！」今日も筒井学区の朝には石塚さんの笑顔が輝きます。



「ウイズ見守り」で、子どもを見守ろう  
渡邊 範子さん

少年補導委員、子ども会役員を長年務めている山吹学区の渡邊範子さん(65)。旅行、絵画、読書などの多彩な趣味を持ちながら、お子さんが小学校に入学したことをきっかけに子どもの見守り活動を長年続けています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が難しい中、渡邊さんは『子ども110番の家スタンプラリー』を数年ぶりに企画しています。「子どもが駆け込める場所を親子で確認してもらうのも重要だけど、子ども110番の家の皆さんに改めて協力をお願いするきっかけにしたい」

「子どもの登下校の時間帯に、犬の散歩やウォーキング、買い物、花の水

やりなどとともに子どもの見守りを行う『ウイズ見守り』はどうでしょうか。子どもは大人の行動を見て育ちます。前例にこだわりすぎず、子どものために無理なく取り組めることからやってみてほしい」と笑顔で語る渡邊さん。皆さんもぜひ簡単なことから、子どもの見守り活動を始めてみませんか。



自転車も車両、ルールやマナーを守ろう  
森居 憲一さん

「自転車は大人から子どもまで乗れる気軽なものではあるけれど、車両ということを忘れないで」と話すのは、旭丘学区で自転車店を開業して40年になる森居憲一さん(73)。自らも自転車愛好家で琵琶湖まで往復150kmも走る健脚の持ち主。学区の防犯委員を長年務め、地域の子どもの安全にも目を光らせています。そんな森居さんも最近の自転車の交通違反やマナーの

悪さを危惧しています。警察庁によると、自転車乗用中の事故では約3分の2が自転車利用者側の何らかの交通違反が原因となっています。また、自転車と歩行者の交通事故は年々増加しており、自転車側に多額の損害賠償が求められる裁判例もあります。

自転車安全利用五則

- ① 自転車は車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先。車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る  
飲酒運転、二人乗り、並進は禁止  
夜間はライト点灯  
交差点での一時停止と安全確認・信号を守る
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用



一隅を照らす者、これ東区の宝なり

東区安心・安全で快適なまちづくり推進協議会副会長  
東区区政協力委員協議会議長  
中野 幸夫



天台宗の開祖伝教大師最澄には「隅を照らす者、此れ則ち国の宝なり」という言葉があります。一隅を照らすとは皆が気づかない、ほんの片隅のことを指し、自分自身が置かれていた場所を精一杯努力して光り輝き、社会全体を明るく照らしていくことです。それは自分のためばかりではなく、社会みんなの幸せを求めていこうという事だと思えます。そして社会になくはならない人となり、何者にも代えがたい大事な国の宝になるといふ事です。ここに紹介された6人の達人の皆さまは誰もが注目するような表舞台ではなく、今自分のいる場所で、まず目の前のこと、自分にできることを一生懸命やっておられます。

東区ではたくさんの方々自主的に周囲の皆さまと協力しながら安心・安全のための活動をされています。地域課題を掘り起こし解決しようとする真摯に取り組むその姿勢は決して「

をしてあげる」ということが微塵も感じられず、とても立派な活動だと思えます。まさに「東区の宝」といっても過言ではありません。東区の自治会加入率は約65%です。地域課題の解決を図るには地域全体を対象にしなければ安心・安全なまちはつくれないと思っています。それには自治会未加入者も含めた地域住民みんなのための活動を行う必要があると考えています。今、東区ですすめている「スモールアクションプロジェクト」は「隅を照らす」に通ずるものがあります。まず目の前の自分にできることから始めてください。さあ勇気を持って最初の一步を踏みだしましょう。多くの達人の出現を心待ちにしています。

最後になりますが、全ての達人の皆さまのご活躍とご健勝を祈念するとともに、東区が安心・安全でますます住みよいまちとなりますよう専心努めてまいります。

地域デビュー

してみませんか?



この「まちの達人から学ぶ」を読んで、地域活動に興味を持ったあなた! 「地域デビュー」してみませんか? 地域にはさまざまな課題があります。自分ができることをできる範囲で貢献してみたいかがでしょうか? お住まいの自治会や町内会の役員さんに相談するのも、学区のコミュニティセンターを訪ねてみるのも、私たち東区役所地域力推進室にお電話いただくのもOKです。きっと新しい出会いや楽しさが見つかりますよ。